



サポートセンター通信

第48号

発行元：松本市民活動サポートセンター
 〒390-0874 松本市大手 3-8-13
 松本市役所大手事務所 2階
 TEL/FAX：0263-88-2988
 E-mail：support-center@support-center.jp
 URL：http://www.support-center.jp

市民活動フェスタ2013「ぼくらの学校」が開催されました！

市民活動団体の発表・交流の場である市民活動フェスタ 2013in 松本「ぼくらの学校」が9月28日、29日の2日間にわたり、あがたの森にて**2,000人**の来場者を集め賑やかに開催されました。

4回目の開催となった今年の「ぼくらの学校」は、“松本一受けたい授業”をコンセプトに、会場をあがたの森全体に広げ、旧高等学校の教室をフルに活用し、それぞれの活動をわかりやすく子どもからおとなまで楽しみながら学んでいただけるよう、43団体がそれぞれ工夫を凝らしたブースで多くの市民を呼び込みました。



インターナショナル教室 世界の会話とお茶を体験し異文化に触れる多文カフェ



松本一受けたい授業 理科講義「ツキノワグマってどんな動物？」にクマ出没！



平和・いのち教室 東日本復興支援「ともしびプロジェクト」のキャンドル作り



子どもわくわくひろば おもちゃ館の信州産木製ボードゲームで遊ぶ親子



パソコン教室 パソコンが初めての子どもたちも簡単お絵かきに挑戦



自然環境・エコ教室 エアロバイクを使った発電の仕組みを説明する実行委員長



自然環境・エコ教室 食器のリユース「もったいない市」にて回収食器を無料提供



子どもわくわくひろば 木のぬくもりと香りに包まれた森のつみ木広場で大作に挑戦



ワールドカフェ アフター5は団体交流で「2020年の松本」について語り合った

ステージ発表、パネル展示、講義、工作や遊びなどのワークショップ、そして喫茶や販売など、多種多様な形式のブースをスタンプラリーでめぐり、学校で学ぶことができない社会のことを学んだ2日間でした。

11月1日のふり返りの実行委員会では、「多くの親子連れに参加いただけて満足」との感想をいただきました。さらに「幅広い世代への広がり」「集客を如何に活動への動機づけにつなげていくか」など、来年度に向けて一歩前進した課題も出されました。パワーアップした来年度の「ぼくらの学校」が楽しみです。



子ども・若者を支える人のための養成講座 報告

「子ども・若者を支える人のための講座」が7月14日にスタートし、10月26日に終了しました。連続全8回講座、延べ240名の多くの方に受講いただき、最終日には全講座を受講された5名の方に修了証が授与されました。

発達障害や精神疾患などの“生きづらさ”や、虐待、自傷行為、非行など、子どもたちに起きている現象をテーマに「なぜ？」ではなく「なるほど」と理解して、子どもと共に歩いていく支援者を養成したい。今回のこの講座を企画してくれた「ながの不登校を考える県民の会」とその目論見が合致し協働での開催となりました。最近の子ども支援の現場では、問題が複雑化し複合的な困難を抱えるケースも多く、より専門的な知識が求められています。すでに数年の活動実績がある団体でも個別の対応に苦慮しているという現状があり、一方、サポートセンターに登録するプラチナメンバーには「過酷な現代社会に生きる子どもたちの力になりたい。何をしたらいいのかわからないが役に立ちたい。」と、これから活動したいと希望する方もいます。この講座は、そんな子どもや若者の支援に携わろうとする活動者の養成と、支援者や関係者のスキルアップを目的に開催されました。

講座は、第1回「発達障害」から始まりました。参加者には発達障害の子どもの対応に悩んでいる方も多く、保護者の参加も目立ちました。言葉の広がり比べ障害への周囲の理解が進んでいない現状が分かります。第2回「子どもの精神疾患」、第3回「虐待・DV」、第4回「リストカット」、第5回「非行」と、現代社会の現象として見逃せない子どもたちの問題行動と精神疾患の関係について、臨床経験豊富な4名の精神科医に学びました。第6回「発達障害ピアサポート」、第7回「外国にルーツを持つ子ども」は、それぞれ当事者である講師のお話を聞きました。最終回は「解決志向アプローチ」で困った事例への対応について学びました。

もうひとつの目的は交流の場を提供することです。業務や活動の中で互いをよく知らないため、他機関や他団体への紹介や連携が難しいという声をよく耳にします。そこで毎回、交流タイムを設け分かち合いや情報交換を積み重ねてきました。講座終了後のアンケートでは、情報交換や地域ネットワークなど何らかのつながりを求め、16の方が養成講座OB会への参加を希望しています。今後、ネットワークのあり方などを検討し、連携の強化に努めていきたいと思えます。

第1回 7/14

「発達障害—当事者・親・支援者の立場から」

宮尾彰氏（長野県発達障害サポートマネージャー）

特性を持つ子どもとの接し方について、体験を交えた講座で、「ゆっくりと話を聴く」そして「待つ」、あるいは「見守る」という姿勢が必要であることを実感しました。



その後の当事者・親・支援者のリレートークでは、それぞれの思いが語られ、参加者は「認識を新たにした」と当事者家族に対する理解の重要性を感じました。

第3回 8/17

「子どものトラウマ—虐待・DV被害が与える影響」

白川美也子氏（Seeding Hope 代表、精神科医）

子どもの虐待は、本来養育され愛され大切にされるはずの関係の中で起こり、慢性的に繰り返されることで信頼する力を失い、情緒的トラウマとなること、世代間伝達の可能性を知りました。代表を務めるSeeding Hope（子どもと家族のメンタルヘルスに関する任意団体）の活動にも触れ、複雑化する事例にチームを組んで対応していくことが必要であると訴えられました。



第6回 10/5 「ピアサポートとイトコサガシ」

冠地情氏（当事者会イトコサガシ代表）

発達障害当事者でもある講師は、良いところ探し、互いに褒め合うワークショップを全国で開催し、コミュニケーションの楽しさを広める活動をしています。ユニークな身振り手振りの講師に、終始笑顔の講座でした。



第8回 8/18

「困った事例の考え方—解決志向アプローチセラピー」

長沼葉月氏（首都大学東京准教授・精神保健福祉士）

問題やその原因、改善すべき点を追求するのではなく、解決に役に立つ資源（能力・強み・可能性）に焦点を当て、問題解決後の未来の姿をイメージし、それに近づく行動を実践することが、解決志向アプローチであると強調されました。ペアを組み、傾聴のロールプレーやタピングタッチなど実践を意識した講座でした。



Close Up! 今回は、ぼくらの学校 2013 を盛り上げていただいた 2 団体を紹介します。

C F M 実行委員会

Tel : 090-2726-3761 (理事長 小林美穂)

URL : <http://cfm2013.jimdo.com/>



ぼくらの学校「シナプソロジーリフレッシュ体操」のようす

「CFM」とはフィットネス用語「チャリティ フィットネス マラソン」の頭文字で、エアロビクス・ヨガ・ヒップホップ・太極拳など様々な手法を取り入れたエクササイズを意味する。NPO 法人設立申請時に「マラソンという意味が一般の人には分かりにくい」との指摘を受けたが、「ロゴも作ってしまっていたので、いっそのことチャリティ フィットネス まつりにしました。」そう笑顔でお話をしてくださるのは、CFM 実行委員会理事長の小林美穂さん。小林さんを含め中心メンバー5人

はプロのインストラクターをしている。「高齢化社会、子どもや若年層の低体力化、女性の健康や心の病、地域力の低下など社会に顕在する諸問題を、心身の健康づくりや人間関係づくりを通して解決したい」と、これまでおこなったイベントは驚くことに毎回約500名を動員。上田市へAED装置寄贈や、震災の年には栄村役場に50万円寄付・栄村小学校にCD装置を寄贈、出張ダンス授業など、子どもから大人まで地域のみんがいきいきできるように精力的に活動している。

ここでエピソードを一つ。ある高齢の女性が「海外旅行ツアーを申し込んだのですが、ツアー中に体調を崩したり、歩く速度についていけず迷惑をかけるかもと心配し、ツアーを断念しました。」という話を小林さんにしたという。小林さんは「自分に素直に生きてほしい」と思い、その女性にCFMを通じて体力づくりしていただいた。その結果、心身ともに自信がついた女性は海外旅行を楽しみ笑顔で帰ってきたという。「人は身体を動かすことで自然と笑顔になり心も元気になる。誰もがいきいきと元気な健康寿命延伸をめざして活動していきたい。」と、終始はつらつとした表情でお話しいただいた。(はやし)

平和の種をまく会

Tel / Fax : 0263-62-2232 (代表 安藤真吾)

会が発足した2006年は、アフガン、イラク戦争が起これ、世界情勢は非常に不安定な状態だった。昨今、戦争は大戦ではなく、地域紛争・テロ型へと変化している。そのような「平和」と呼べない状況の中で、日本人の役目として平和の種をまき、世界に貢献すること、それが活動の原点である。

「平和の種をまく会」は、今年の市民活動フェスタ『ぼくらの学校』で「原爆と人間展」の30枚のパネル展示を行った。パネルは「原水爆被害者団体協議会」が制作したもので、原爆の恐ろしさ、悲惨さの理解を訴えるものだった。日本は唯一の原爆体験国であり、第5福竜丸の被爆や、現在は3.11震災後の福島原発の問題を抱えており、核問題について考えるにあたって、世界においてこのような国は他にない。フェスタ当日、来場者がそれぞれの立場での思い、考えを持ち、真剣にパネルと向き合う姿に手ごたえを感じた。フェスタのように多くの人が集まる機会に署名活動もしていきたいと語った。



ぼくらの学校「原爆と人間展」のようす

現在の「平和の種をまく会」の活動は、2か月に1度のニュースレターの発行が柱になっている。ニュースレターは、大量消費を考え直す暮らし方、食の安全等の身近な問題から、戦争や貧困等の国際的な問題まで、多岐にわたるテーマで原稿を集め編集・発行している。独自のイベントや企画は減っているが、会のメンバーが関連する外の会合に参加し活動に連携することで、色々な人との輪が広がっている。今後は、この繋げ役としての立場が重要と考える。

お話を伺い、今私たちは「平和」に向けての大事な岐路に立っているのだと改めて実感させられた。(さとう)



INFORMATION : お申込・お問合せは各団体に直接お願い致します。



イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

元気づくり生き生きフォーラム

シルバー世代を対象としたフォーラムです。

- ◆日時：11月24日(日) 13:00~16:00
- ◆会場：あがたの森文化会館 2F
- ◆入場料：無料
- ◆内容：①絶対だまされない詐欺の手口勉強会
②生き生き健康教室
③生きがい発見体験コーナー
④安心して暮らす無料相談会
⑤シルバーカフェ紹介スペース
※①②は定員 40 名
- ◆問合せ：シルバーカフェ TEL/FAX：0263-87-7816



第2回 広報力ステップアップセミナー

広報のプロ 6 人から広報力を学ぶセミナーで、第2回はファンドレイジング(資金調達)の視点からマーケティングを基礎から学びます。

- ◆日時：11月24日(日) 10:00~16:00
- ◆会場：松本市市民活動サポートセンター
- ◆講師：長浜 洋二氏(NPO マーケティング研究所代表)
- ◆参加費：2000 円
- ◆定員：30 名
- ◆問合せ：地域活動応援チーム えんのわ 事務局
TEL:050-3639-2388 FAX:0263-87-3005

第4回 長野県不登校を考える県民のつどい ～子どもたちの幸せな未来をみんなで考えよう～

パネルディスカッションや、不登校の子どもを持つ保護者同士が交流する座談会を設け、仲間とともに不登校について考えます。

- ◆日時：11月24日(日) 10:00~16:00
- ◆会場：松本大学(5号館・フォレストホール)
- ◆入場料：500 円 ※学生無料
- ◆託児：1000 円 ※11月15日までに要予約
- ◆問合せ：下伊那子どもサポートセンター
(ながの不登校を考える県民の会事務局)
TEL:0265-76-7627 FAX:0265-94-2064



サンタ・プロジェクト・まつもと 2013

クリスマスを自宅で過ごせない子どもたちに「本のプレゼント」をしてください！購入いただいた本は、入院中の子どもたちや岡田小学校・女鳥羽中学校あさひ分校の子どもたちにお届けします。

- ◆期間：12月7日(土)~15日(日)
- ◆場所：ちいさいおうち書店・TSUTAYA 北松本店
平安堂あづみ野店・宮脇書店松本店
リブロ松本店

サンタ・プロジェクト・まつもと 2013 プレ企画 ～サンタ・プロジェクトってなあに？～

絵本の読み聞かせの実演や、昨年本を贈った病院の感想発表、クリスマスカード作りなど楽しさ満載企画です。

- ◆日時：11月25日(月) 13:30~15:30
- ◆場所：松本市市民活動サポートセンター
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ：NPO 法人ライフデザインセンター
(サンタ・プロジェクト・まつもと事務局)
TEL/FAX:0263-46-2020

快医学による心とからだのセルフケア講座

からだの筋・骨格系の歪みを直す操体法、薬草の使い方などを学びます。

- ◆日時：11月24日(日) 13:30~16:00
- ◆会場：庄内地区公民館
- ◆定員：15 名
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ：NPO 法人ライフケア
TEL:090-3757-1998 FAX:0263-55-7946



平成 26 年度「地域発 元気づくり支援金」説明会

地域づくりを実践する活動のための資金として、身近で関心の高い「地域発 元気づくり支援金」の申請方法などの説明会を行います。

- ◆日時：12月17日(火) 13:30~15:30
- ◆会場：松本合同庁舎 2F 講堂
- ◆問合せ：松本地方事務所地域政策課企画振興係
TEL:0263-40-1902 FAX:0263-47-7821

ゆめまる HAPPY 隊～里親様大募集～

放棄犬や保護犬を受け入れ、新しい出発のお手伝いをしている「ゆめまる HAPPY 隊」では、里親様、物資の応援、ボランティアを大募集！

- ◆問合せ：一般社団法人ゆめまる HAPPY 隊
TEL:080-1023-2354
HP: <http://www.yumemaru.net/>



編集後記

今年の市民活動フェスタは多くの来場者で賑わいました。展示内容の充実、準備の手際よさに活動団体の底力を感じさせていただいた「ぼくらの学校」でした。今年も残りわずか、ますます寒さが厳しくなりますが、お体に気を付けてお過ごしください。(なかがわ)